

イースター日曜日礼拝順序

2017年4月16日 午前11時 南部チャペル

前奏		武井里花姉
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
交読文	24 詩篇100篇	
賛美歌	154 “地よ、声高く告げ知らせよ”	
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		下竹寛子姉
	ヨハネによる福音書20章19-22節	
賛美歌	262 “十字架のもとぞいとやすけき”	
説教	“よみがえりの体”	Scroggins 由紀牧師
賛美歌	496 “うるわしの白百合”	
献金		三縄都美子姉
報告		
頌栄	541	
祝福		Scroggins 由紀牧師
後奏		武井里花姉
(礼拝終了:奉仕開始)		

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

憩いの場

“とりなしの祈り”

“そこで、まず第一に勧める。すべての人のために、王たちと上にたっているすべての人々のために、願いと、祈りと、とりなしと、感謝とをささげなさい。” (テモテへの第一の手紙2章1節)

皆さんは、クリスチャンになる前に、不思議な導きを感じたことがあるかもしれません。私自身も、主イエスを信じるようになったのは、不思議な縁です。高校生の頃はクリスチャンではなかったのですが、父に英語を教えていた女性が、クリスチャンアカデミーという学校の先生をしていて、その方の紹介でアメリカのフリーメソディスト派の大学に行き、そこで信仰を持つようになりました。しかし、考えてみますと、これは偶然ではなく、宣教師の娘さんであられた、その先生が私の為に祈ってくださったような気がします。そして彼女だけでなく、子供のころ教会に誘ってくれた友達や、神の愛について言及した友達も、私の為に祈ってくれていたかもしれません。もう会うことはないそういった方々の祈りを神は聞いて下さり、導かれて救われたことを、心から感謝したいと思います。

聖書は、すべての人のために、王たちと上に立っているすべての人々の為に、願い、祈り、とりなしと感謝をささげるように勧めています。現政権において行方を案じている方も多いと思いますが、クリスチャンは祭司として、とりなしの祈りを捧げる役割があることを覚えるべきでしょう。神はどんな指導者よりも勝る方であり、世の中の動向をご存知です。自分自身の祈りがどれほどのものか、とは思わずに、どんな祈りでも、神はちゃんと聞いて下さり、答えを与えてくださることを信じましょう。(Scroggins 由紀)

イースター記念献花

下竹博兄、寛子姉（記念：不破満男兄）

下竹祐三郎、由美子姉（記念：不破満男兄）

三縄博兄、都美子姉（記念：不破満男兄）

記事：消息

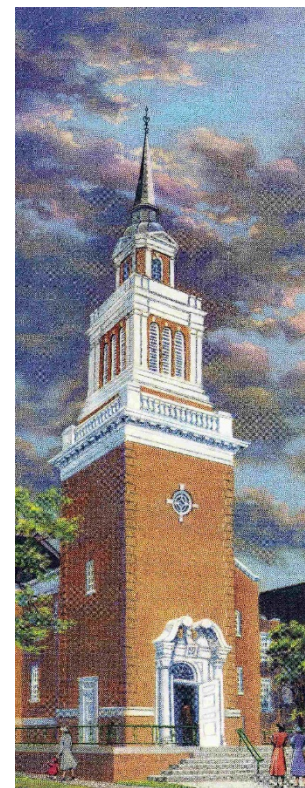
—陳百合子姉、南部 Ethel 姉、南部勝牧師、英語部の Tony Abiera 兄、Joe Feiler 兄、Kate Whitmore 姉、日本に戻られた小坂るみ姉、加納姉のお孫さんの Casey 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。又、名前が挙げられていない方で、癒しを必要とされている方々も、主イエスにより癒されますように。

—イースターの献花をされた兄弟姉妹の方々に感謝です。尚、献花申し込みは教会出席者に限らせていただきました。

—4月9日の説教は“みことばの成就”と題して、ヨハネによる福音書19章28-30節からでした。主イエスは十字架の上で息を引き取られる前、われはかわく、といわれ、酸い葡萄酒を受けられた後、すべては終わったといわれました。神の御子としてのご使命を成し遂げられた主イエスの尊い贖いの御業について考えました。

お知らせ

—本日は、礼拝後、お茶の時間に復活祭と3月生まれの方の誕生日をケーキでお祝いします。皆さんご参加ください。



週報

第3622号

2017年 4月16日

発行：2017年4月12日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話：773-728-4200 Ext. 26

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org